

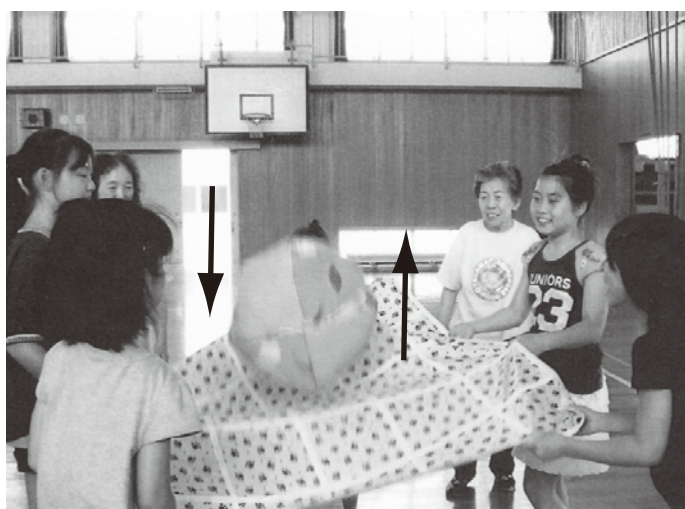
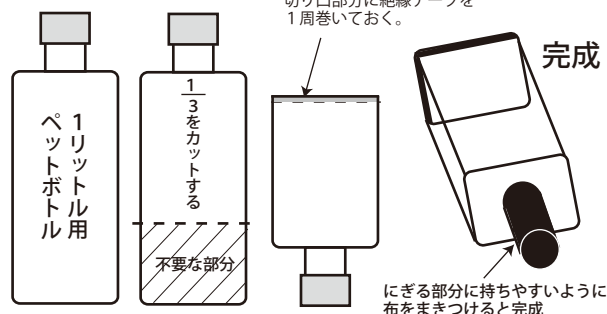
お手玉遊びになれ親しんでもらう工夫が大切。 ゲーム感覚で簡単に楽しめる遊び方を紹介



ペットボトルを再利用

写真をよく見ると、なるほど、ペットボトルをうまく使って誰でもなれ親しむような工夫がされている。こどもから高齢者の方でも、これなら楽しむことができます。秘密は受け取る人の俊敏性がとても重要。

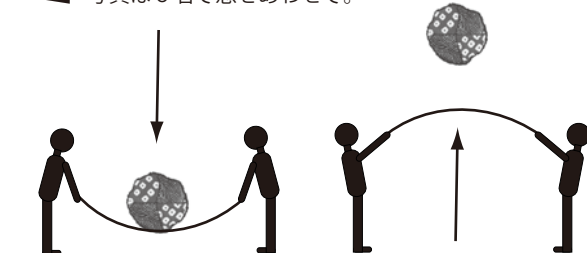
手を切ることを内容に
切り口部分に絶縁テープを
1周巻いておく。



広い布と大きなお手玉1つ個を使う

一つのお手玉をみんなで協力しあって楽しめるお手玉遊び。1枚のタオルを使っても、風呂敷を使っても、また、数人で一緒にできる大きさの布をつかってところを一つに。(お手玉は作ってもいい。ボールを使ってもよい。)

写真は6名で息をあわせて。



2人から何人でもできるお手玉遊び

ペットボトルを利用した遊び

子どもとお年寄りが仲良く楽しむ

和歌山のお手玉の会では研修で学んだことを参考に、小学生や高齢者を対象にした新しい遊びを考案して、楽しんでいます。

まず、1リットル用のペットボトルを利用した、お手玉キャッチボールという遊びです。

ペットボトルの底の部分の約3分の1を、図のように切り取ります。ペットボトルの切り口には、ビニールテープを巻いてけがをしないように保護します。2人が右手にお手玉を1個入れたペットボトル持ち、2メートルくらいの間隔で2人が向いあいます。

お互いに右手を勢いよく前にだし、ペットボトルの中のお手玉を相手に届くように振り出します。お互いに相手が投げたお手玉を、ペットボトルで受け止めます。

つぎは、お手玉トランポリンという遊びです。ざぶとん型お手玉に真綿を入約40センチの大きくて軽いお手玉と、大きな風呂敷を2枚つないだくらいの広い布を用意します。

広い布を2人、4人、6人で持ち、「いーち、にーい、...」と声をかけながら、また歌を歌いながら、お手玉を弾ませてあそびます。また、会場が広ければ、何組かでお手玉を運ぶ競争をしても楽しめます。